

山南北话电视

想必大家每天都要看电视吧。除了如今经常被提到的数码地面电视广播以外，您是否还听说过 BS 电视广播以及 CS 电视广播这样的说法呢？近几年，各种方式的电视广播纷繁出现，难免让人产生混乱。

BS (Broadcasting Satellites 的简称) 被翻译成“广播卫星”；而 CS (Communication Satellites 的简称) 则被翻译成“通讯卫星”。尽管两者都是从设在陆地上的电视台所发出的信号，可这些信号却是从飞行于太空中的卫星上接收来，并传送到各家各户的。与此相反，通过东京塔之类的电视塔，或是设在高山上的电波塔所传送到各家各户的电视信号，被称为无线电波。由于以往的电视广播，只有无线电波这一种形式，所以有些岛屿和山区，无法接收到无线电波，因此，开发了通过卫星传送电视信号的广播方式。



至于 BS 和 CS 的播放内容，BS 广播还同时播放 NHK 及私营电视台等无线电波信号，因此，它是由各类电视节目组合而成的。与此相反，CS 广播迄今为止已约有 370 个频道，其播放内容都是根据观众兴趣爱好或电视教育等不同角度所制作而成的专业性节目。比如说，CS 有一整天都播放电影、以及一整天都播放新闻的频道。

想必在各位读者中间，一定有乐于看汉语节目的人吧。汉语节目属于 CS 电视广播（斯卡巴！HD）的频道。如果您也想收看汉语节目的话，可以到电器店里去拿一份有关 CS 电视广播的指南手册，从手册里可以了解 CS 电视

てれびよもやま話

みなさんは、毎日テレビを見
ると思いますが、今話題の地
上デジタル放送とは別に、
B S 放送とか C S 放送とい
った言葉を聞いたことがありますか？ 近年、いろいろな放送があるので混
乱していること思います。



B S (Broadcasting Satellites の略) は「放送衛星」、C S (Communication Satellites の略) は「通信衛星」と訳されています。どちらも地上の放送局から出された電波が、宇宙にあるそれぞれの衛星に送られて、そこから皆さんのが家に送られてきます。これに 対して放送局から発した電波が、東京タワーのようなテレビ塔や高い山の上にある電波塔を経由して送られてくるものを地上波と呼びます。昔は地上波だけだったのですが、一部の島や山間部には、電波が届きにくい地域があったため、衛星を介して電波を送る方法が開発されました。

BS 放送と CS 放送の内容ですが、BS 放送は、N H K や民放などが地上波と同時に放送していて、さまざまな番組を組み合わせた編成になっています。それに対して CS 放送は、今では約 370 のチャンネルがあって、それが趣味や教養などの視点から専門的な番組編成をしています。例えば、一日中映画を放送しているチャンネルや一日中ニュースを放送しているチャンネルもあります。

皆さんの中には、中国語の放送を楽しむ方もいると思いますが、それは CS 放送（スカパー！H D）のチャンネルです。これから新しく中国語の放送を見たいという方は、電

广播网的申请方法。想要接收 CS 电视广播信号的话, 还需要购买专用的调谐器(大约 2 万日元)和 CS 电视天线(大约 8000 日元)。您家的阳台或窗户, 屋顶等朝向为西南南的地方(天气好的时候, 下午一点前后见得着阳光的地方)是安装电视天线的理想位置(如果有树木或大楼等障碍物的话, 有可能无法接收到信号, 因此敬请事前进行确认为佳)。接收信号的准备做好以后, 一段时间内可以免费收看各频道节目。免费收看期间过去之后, 仍然想继续收看的话, 需要填写申请表(在出售调谐器及天线的电器店里就有), 并且向指定的账号支付申请费(限于第一回申请者的话, 为 2940 日元)、每个月的基本费用(410 日元)及收视费(您所申请的频道)。顺便说一句, 最近常常被人们提到的“BS / CS 110° 天线”, 是无法收看汉语节目的, 敬请注意。

话说回来, 您是否已经做好了接收数码地面广播的准备呢? 想必您已经知道, 从明年 7 月 24 日起, 迄今为止的模拟电视广播将停止传送信号(请参照本刊第 42 期“新闻话语”)。因此, 最好是尽早作好准备。居住在集体住宅区的人, 管理人(房东)需要安装数码地面广播天线, 申请有线电视或进行数码地面广播改修工事等。敬请向您所居住的集体住宅之管理工会或房东打听一下, 是否已经完成了上述工事。如果已经完成的话, 您就可以购入数码地面广播调谐器(大约 5000 日元, 至于有关支援措施, 请参照本刊第 48 期), 或购买市面上出售的数码电视, 只要接上, 就能收看数码地面广播了。

电视这一领域, 正不断地发生着变化。希望大家能好好儿利用电视, 为您的生活增添更多的乐趣儿。
(M)

器店などに置いてある CS 放送のパンフレットで加入方法を知ることができます。受信には、専用のチューナー(2 万円前後)と CS アンテナ(8000 円前後)を購入しなければなりません。アンテナは、自宅のベランダや窓枠、屋上など南南西の方向(晴天時の午後 1 時前後に太陽が見える位置)に取り付けます。(木やビルなど障害物がある場合、受信できないことがありますから、事前に確認してください。)受信準備ができれば、しばらくは無料で見られます。継続して見たい場合は、加入申込書(購入店に有り)に記入し、指定されたところに加入料金(初回のみ、2940 円)と月々の基本料金(410 円)および視聴料金(1 番組毎)を支払います。ちなみに、最近話題になっている「BS / CS 110 度アンテナ」では、中国語の放送は受信できないので注意してください。

ところで、地上デジタル放送対策(地デジ対策)はお済みでしょうか? ご存じのように来年の 7 月 24 日をもって、今までのアナログテレビの受信ができなくなります。(本誌第 42 号「ニュースのことば」参照) 早めに対策を探りましょう。集合住宅の場合、管理人(家主)が地デジアンテナの設置やケーブルテレビへの加入等、地デジ化改修工事を行う必要があります。集合住宅の場合、工事が済んでいるかどうかは管理組合や家主に問い合わせてみてください。すでに済んでいる場合は地上デジタルチューナー(約 5000 円、支援策については本誌 48 号参照)を設置または市販のデジタルテレビを購入し、接続すれば地上デジタル放送がみられます。

テレビの世界はどんどん変化しています。これからもテレビを上手に活用して、楽しみの幅を広げてください。
(M)